



創立 昭和28年1月8日

第2576回 Vol.53 No.26 2005年1月20日

# TANABE



# ROTARY

District 2640 田辺ロータークラブ

Club Weekly Bulletin

### ローターを祝おう

#### 100年の歩み

2004-05年度  
国際ローターテーマ  
グレンE.エステス・シニア  
RI会長

#### 4つのテスト (FOUR WAY TEST)

- 言行はこれに照らしてから
- (1) 真実かどうか
  - (2) みんなに公平か
  - (3) 好意と友情を深めるか
  - (4) みんなのためになるかどうか

例会日 木曜日 12:30  
 例会場 紀陽銀行三階ホール  
 会長 辻 啓次郎  
 幹事 植田 芳史  
 会報委員長 玉井 洋司  
<http://tanabe-rc.com/>

承認 昭和28年3月2日  
 事務所 田辺市栄町24 〒646-0048  
 紀陽銀行田辺支店内  
 TEL 0739-24-2002  
 FAX 0739-26-0264  
 mail tanaberc@mb.aikis.or.jp



「福娘」

### 司会者

辻 啓次郎会長

### ソング

奉仕の理想

### ゲスト

南方熊楠邸保存顕彰会  
濱岸宏一様

### ヴィジター

### 本日のプログラム 1/27

京都大学瀬戸臨海実験所  
久保田 信様  
「日本海南部海域でのガ  
イトリド類(刺胞動物門)  
の分布拡大について」

### 次回のプログラム 2/3

2004-05年度財団奨学生  
田中京子様

### 出席報告

	会員数	欠席者	出席者	出席率
総 数	81名	20名	61名	
出席計算者	71名	16名	55名	77.46%
12月16日修正出席率 90.14% 12月平均出席率90.61%				

### メイクアップ

1月18日 畑地浩(ホノルルRC)

### お祝い

会員誕生日 1/23 高橋武  
 配偶者誕生日 1/26 多屋由紀子(平彦)

### ニコニコ箱

濱岸先生ようこそいらっしゃいました。卓話よろしくお願ひします。……植田英、村上、近藤、玉井洋濱岸先生よくいらっしゃいました。南方日記のお話楽しみにしています。……脇村先週の例会で、きのくに信用金庫大野支店長に大変お世話になりました。……辻、植田芳米山功労者マルチプルを頂きました。……村上辻会長より、お父さんの供養ということで田辺RCゴルフ会へ金一封頂きました。ありがとうございます。有効に使わせて頂きます。……長野紀伊民報へ節句人形の記事が掲載されました。福本同業会のボランティア活動が新聞に載りました。……稲田静歌会始で皇居へ行ってきました。テレビにも映っていたそうです。……小山紀伊民報で紹介して頂きました。……堀田長男が元旦からウィルス熱で入院し、土曜日にまた熱が出て再入院しました。今日は欠席させて頂きま。永井先生お世話になっております。……小川本年初出席です。今年もよろしくお願ひします。長井

ソニーオープンで惜しくも丸山が優勝を逃しました。僕のパットがあれば優勝できたのにと残念でなりません。……伊賀席の配置で段取りが悪く、ご迷惑をおかけしました。……中松

### お知らせ

#### 会長報告

- ・本日より大寒に入ります。皆さん健康にはくれぐれもご注意下さい。
- ・日置川プロバスクラブ結成3周年記念大会が1月30日行なわれます。畑地浩がバーナー補佐、吉田透会員、会長の3名に招待状を頂いています。
- ・村上会員がマルチプル3回ポール・ハリス・フェロー、第7回米山功労者になりました。

#### 幹事報告

- ・第31回目米山功労クラブの感謝状が届いています。
- ・2004-05年度財団奨学生田中京子さんよりメールと写真届いています。1月23日頃一時帰国の予定です。
- ・近隣クラブの会報が届いています。

### 委員会報告

#### 雑誌委員会

- ・ローター友1月号の紹介。

高橋武委員

### プログラム

#### 「南方熊楠の一日」



南方熊楠邸保存顕彰会  
常任理事 濱岸宏一様

今、南方熊楠が注目を集めており、変人、奇人と思われる所があるが、私はそうではないと思っています。

今日は、そんな一面をご紹介出来ればと思っております。田辺時代の幕明け1904年からの話をさせていただきます。

南方熊楠が、勝浦を立ち中辺路を通り西谷から上三栖を越し（潮見峠を通らず）、田辺に着き多屋寿平次氏宅に泊まるのは一九〇四年（明治37）の十月十日である。

一九八七年（昭和62）十月より、南方熊楠の業績や思想を市民レベルで学習しようということで、月一回第3土曜日の午後、田辺市立図書館で『南方熊楠日記（八坂書房刊）』を読む会を紀南文化財研究会（会長小山周次郎）で発足させ、一九九一年（平成3）三月の第42回をもって全四巻を読了したのは、もう一昔前になる。その成果もふまえ、来田後約一年間の熊楠の田辺周辺での植物採取を中心に人びととの連わりを見てみたのが、前出の『日記（抄）』と表-1「『南方熊楠日記』より見た植物採集関連地域」である。

熊楠と田辺のかかわりは、すでに一九〇二年（明治35）から始まっている。歯の治療の為勝浦から船で和歌山にもどった熊楠は、しばらくの間弟の常楠宅に滞在した後、船で田辺に向かい五月二十二日田辺に到着し、和歌山中学校以来の親友喜多幅武三郎や父の知人で熊楠の田辺における「保護者」多屋寿平次を訪ね、喜多幅宅に逗留する。六月からは約四ヶ月間鉛山（湯崎）温泉に行き有田屋や神崎屋などに留まり藻類を採集、また椿・富田方面にも出かけている。十月には田辺にもどり石友方へ滞留し、喜多幅、泉、多屋、那須、天野、ぬし惣、川島、矢野、目良等と交友が本格化し、後の田辺時代（一九〇五年以降）につながる南方の人脈が形成されていく。後の田辺やその周辺での植物採集のテリトリーもほぼこの時期にカウントされたと見てよい。（瀨岸宏一「南方熊楠日記を読む会例会抄」一九九三年十二月くちくまの95所収）

表-1で検証できるように、一九〇四年（明治37）十月以降の熊楠の田辺時代の旗開けが極めてスムーズに展開して行くのは、この前史の存在が指摘できる。

居住する旧田辺町を手始めに、隣接の西ノ谷村・湊村・稲成村・万呂村・下秋津村・下芳養村、そして上秋津村（奇絶峡や竜神山）・秋津川村（万福寺）、更には新庄坂～朝来・救馬谷・岩田、堅田・富田（安久川の千体仏、権現平など）方面への植物採集地域の広がり、熊楠の人脈の広がりと共に極めて興味あるものである。

特に稲成村稲荷を主とする稲成方面での植物採集回数多さは注目される。今後南方熊楠邸蔵の資料の研究の蓄積と相まってその位置づけが期待される。

次に、「ぬし惣」（本町の旅館）を「キャンプ地」として、「二葉」（本町の料亭）を「前線基地」として「出撃」する熊楠のある一日をみてみたい。

（一九〇四年）

十二月十日 快

常楠より七十円着。名古屋木津文吾氏状着（略）久保田彰氏も今同地にある由。

午後稲荷山へ行くと宿を出、ぬし惣に飲、払ひし、夜共に二葉へ之、飲。小糸よび来り、次に栄、菊来り飲、小糸、栄、菊と目良に之、次に片新に之、同人とぬし惣に之、片新を蹴る。ぬし惣予をつれ宅へおくり来る（十一時頃）。それより又出（二時間ほど）、以下分らず。片新おこせしがおきざりし由。それよりぬし惣と俵屋かどにて分れしと覚しが以下知ず。二時頃帰りし由。（略）

十二月十一日 晴 暖 五時頃より雨 夕迄臥す。

「日常世界を研究するだけでなく、その日常のなかで研究すること、そしてその日常を生きていこうとする複相した“知”のシステムを熊楠はつくり出そうとしていた。」（原田健一『南方熊楠』二〇〇三年十一月平凡社）という指摘もあるが、田辺に居を定め、植物採集・調査研究を通じて発信しようとしたものを熊楠の日々の日常生活の内に明らかにしていきたいものである。

（南方熊楠邸保存顕彰会常任理事 瀨岸 宏一）



### 南方熊楠（1867～1941）

和歌山県が生んだ世界的な博物学者南方熊楠。

その頭脳と行動力は、近代日本の黎明期である明治時代、そして、大正、昭和の初期の時代にあって、幅の広い国際的な業績の数々を残し、柳田国男をして「日本人の可能性の極限」と評させた。

南方熊楠は、海外で15年におよぶ独自の研究生活を送り、1900年（明治33）に帰国して、以後郷土和歌山県に住み、とくに1904（明治37）年からは田辺に定住して、亡くなる1941年（昭和16）まで37年間の後半生をこの地で過ごした。その間、粘菌や民俗の研究に没頭し、自然保護などにも尽力し、偉大な学者とあがめられ、また、たいへんな奇人とみられていた反面、「南方先生」とか「南方さん」と呼ばれて、町の人々に親しまれた。

-ホームページより-

### ロータリーゴルフ1月例会成績

1月23日 白浜ビーチGC

順位	氏名	グロス	ハンディ	ネット
優勝	田上 雅信	86	20	66
2位	小幡 淳美	99	31	68
3位	新井 康司	90	21	69

次回は2月13日（日）9:45スタート

